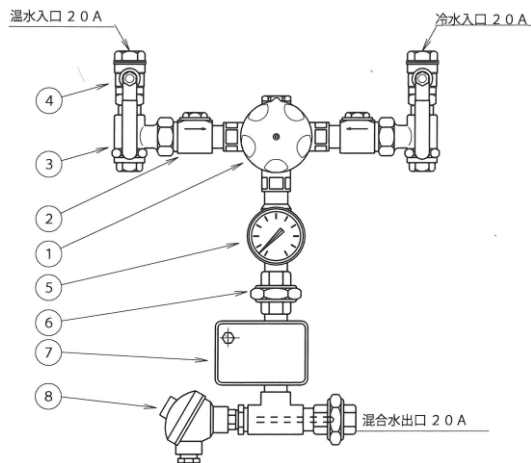


グループシャワー元制御用サーモスタット GUS-320F-M-TC 型取扱い説明書

■概要

Rada 320F サーモスタットミキシングバルブ(日本水道協会認証品)に、ストレーナー、逆止弁、メンテバルブ、温度計、高温遮断用センサー並びに電動 2 方弁をアッセンブルしたユニットで、異常高温時遮断機能を持ち合わせた多栓給湯元制御用サーモスタットミキシングバルブユニットです。

■各部名称



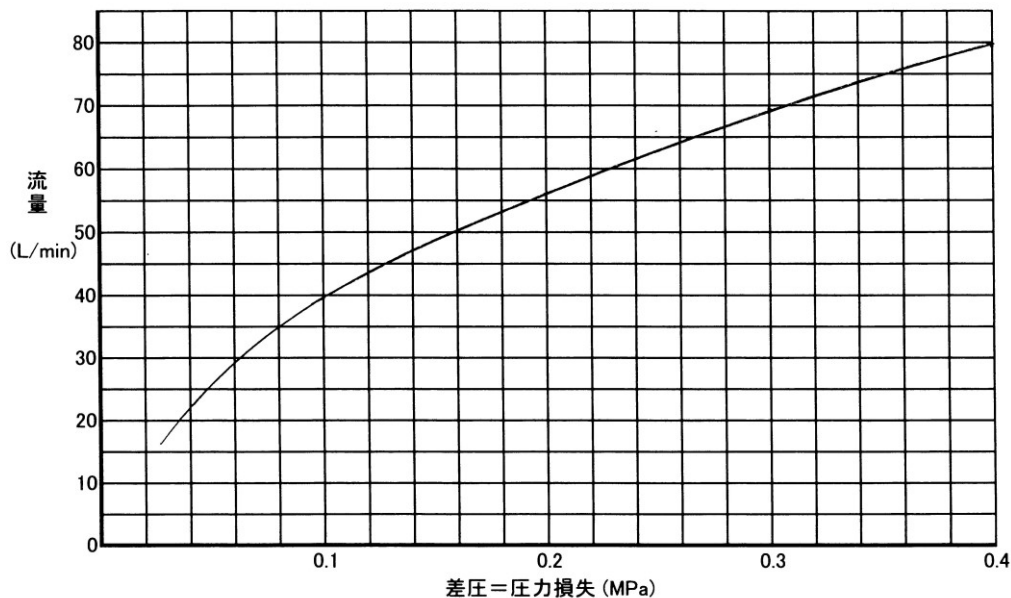
⑧	高温遮断用センサー
⑦	電動2方弁
⑥	ユニオン
⑤	温度計
④	ボール弁
③	ストレーナー
②	逆止弁
①	Rada 320Fサーモスタットミキシングバルブ
符号	名称

■仕様

	GUS-320F-M-TC
最大流量(L/min)	80
最小流量(L/min)	6
最大静止時圧力(MPa)	1.0
最大使用差圧(MPa)	0.4
最小使用差圧(MPa)	0.01
給水/給湯圧力比	1 : 1(等圧)
最適温調範囲(°C)	30~50
最高給湯温度(°C)	70
最低給水温度(°C)	1
出湯温度と給湯、給水 各々の必要温度差(°C)	15~35
電源	100V 19VA

■流量

流量表を参照下さい。(流量表は給湯圧力、給水圧力が等しく、混合水温度が給湯温度と給水温度の中間程度で出口開放時(背圧ゼロ)における出湯量です)



■注意事項

- ・取付けに際しては、逆止弁のキャップが上を向くように設置して下さい。
- ・1日の使用時間は1～6時間程度を標準使用時間としています。
- ・水道水又は飲料に可能な井戸水をご使用下さい。温泉水はご使用になれません。
- ・給湯、給水圧力は同圧でご使用下さい。
- ・出湯温度と給湯、給水温度の差が12℃以下になると温調特性が低下し始めます。

■使用方法

- ・給湯、給水が所定の圧力、温度で供給されているか確認して下さい。
- ・ユニットの給水、給湯の元バルブ（ボールバルブ）を開いて下さい。
- ・温水使用箇所では温水を使用されると、ミキシングバルブで調温された温水が製造され、適温水が吐出します。
- ・温水（混合水）温度を上げる際にはミキシングバルブの温調ノブを反時計方向（左回し）に、下げる時は時計方向（右回し）に回して下さい。
温水出口の温度計を見ながら行って下さい。

- ・最後に、異常高温の値(この温度に混合水温が上がると電動弁を閉じる温度)を温度コントローラーに入力してください。

■メンテナンス ミキシングバルブ

- ・ミキシングバルブはフルカートリッジ式ですので、故障の場合はカートリッジを新替していただくことになります。

ミキシングバルブのメンテを含む取扱いについては別冊「Rada サーモスコピック 320 ミキシングバルブ取付け並びに取扱い説明書」を参照下さい。

- ・逆止弁のシートに遺物が付着したり、シートが破損した場合逆止弁は正常に働かなくなり、逆流を起こしてしまいます。

ミキシングバルブの給水入口の逆止弁の入口側が熱かったり、逆に給湯入口の逆止弁の入口側が冷たかったりする場合は逆流していると考えられます。

その場合は逆止弁のメンテが必要です。

メンテは下記の方法で行って下さい。

1. 給湯、給水の元バルブ（ボールバルブ）を閉じて下さい。
2. 逆止弁の頭の部分（キャップ）を外し、中の弁体（ケレップ）を取出し、シート面をチェックして下さい。又、ケレップの当り面（テフロン製）もチェックして下さい。各々付着物が付いていれば清掃して下さい。
3. 逆止弁のシート面にキズが入っていたら、逆止弁を交換することが必要です。又、ケレップのテフロン面が損傷している場合はテフロンシートを交換することが必要です。

。